

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

(単位 4人)

回答率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1		アルバイト・パートで補っている基本的には適切だが、児童の臨時利用時には不足していると感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		物の配置の構造化に取り組んでいる。エレベーターが設置されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			日々ミーティングをしている。定期的に研修をしている。支援前後の時間に全員でミーティングを行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			前年のアンケートをもとに今年度の改善を共有している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HPIにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			外部コンサルタント 外部の会社との面談を年に1回行っている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			定期的に研修を行っている。こども部会への参加。職員同士による研修
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			半年以内に1度面談を実施 計画作成時に面談を行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			KIDS/S-M社会生活能力検査/Vineland-II Vineland-II,S-M社会性性格能力検査KIDSを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			ミーティングを通して、プログラムの立案を行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			SSTは月ごとにテーマが変わっている。マンツーマン、自立活動では同じ内容でもアプローチを変えるなどしている。
適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			休日には余暇活動などを小集団または個別的に取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			児童一人ひとりに合わせた課題・計画を立て作成している。環境や心境の変化に応じて、半年に一度保護者との面談計画作成を行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝のミーティング、支援前の見発管との面談を行っている。朝にミーティング、終了時に反省会をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			児童が帰宅後ミーティングを行っている。児童の様子や課題の進捗について情報共有を行っている。終了時に反省会をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			連絡帳にて記録を取っている。ヒヤリハットの作成を日々行っている。日報を作成し保管している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			自発管がほとんど毎日児童と関わりを持っている。 児童のテーマに沿った内容が検討している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			個別のみでなく、小集団のSSTも行っている。
連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4			見発管又は相談支援専門員が参加している。
	㉑	学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2		2	保護者、児童本人から状況を教諭してもらっている。児童を通じて学校行事下校時刻の確認を行っている。送迎は行っていない。直接のやり取りではなく、保護者を通じて行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	2	現在医療的ケアが必要な児童がいない。 保護者を通じて行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	2	保護者を通じて行っている。 現在小学1年生からの利用開始がない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所からの障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			相談支援事業所と連携をとり、児童の情報提供を行っている。 相談支援事業所と連携。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		自立支援協議会に参加している。 区の部会を通じて行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	
連携関係機関や	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			こども部会へ参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			保護者が送迎に来てくださった際、様子を報告したり反対に事業所に希望することを伝えてもらったりしている。日々の連絡帳・引継ぎ・面談
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4			家庭でも取り組み継続してほしいことはお願いしている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			質問があった際には、担当者に取り次ぐかその場で説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			保護者からの相談はミーティングで共有 支援ツールなどの紹介
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			保護者会を開催した 年に1回保護者会を行っている
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			ミーティングで共有し、再発防止に努めている。苦情があった際には状況の把握対応を含め当日に行えるようにしている。結果から原因を探り再発防止のためのプランを作成している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	4			毎月のおたよりを発行している。また、長期休みの活動などはマチコミを使用し連絡している。毎月おたよりを発行。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	4			鍵付きのロッカーで保管
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			構造化、視覚化に取り組んでいる。 視覚支援、手順、ふせん、手紙、などを用いている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		3	招待は行っていないが、近隣のイベントに参加している。 スペースがなくてできていない
常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			月に1度避難訓練を行っている。毎月1回避難訓練を行っている。 月に1度の避難訓練。年に1度の訓練の他職員のみ2度
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			委員会の設置
非常時等の対応	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		1	委員会で決定・共有 対象児童がいないため
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	1	1	2	利用者シートへアレルギーの有無を記載してもらっている。2024年にアレルギー有無のアンケートをとった。保護者を通して。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットをミーティングで出し合いファイリングしている。 日々のヒヤリハットを記録定期的に振り返り